R５県新人大会　直前確認事項

運営に関わって

① 時間の確認について

・全チーム 8:20 までに集合をお願いします。（選手権大会のように、開会式前の第１試合と第２試合のチームの１０分ずつのコート練習は行いません。）

8:20 大会役員打ち合わせ

8:30 開会式

⇓ ラインジャッジ研修および第一試合のウォーミングアップ

9:19 プロトコール

9:30 第１試合開始です。その後は追い込みで試合を行います。

※HP にアップされている要項と異なりますが、審判委員長より連絡があった通り、第１試合の生徒役員に関しては、女子は第3試合の2チームから、男子は第3、第4試合の2チームから出し合って行います。

・会場設営チームは 7:30 までに集合をお願いします。

② 大会役員について

・申込書で大会役員として登録された先生は 7:30 に各会場に集合し、会場設営へのご協力をお願いします。（チーム事情や顧問体制で来られない場合も集合時間の 8:20 に間に合うように来て下さい。）オープン参加となり、専門部員が各会場、５名程度しかいません。**「バレーボール専門部が運営している大会に参加する」**という感覚から**「参加チームみんなで運営する大会に参加する」**という意識に変えていただかなければ、大会がまわりません。自チームを優先するのは当然ですが、空いている時間帯には、ぜひとも運営へのご協力をお願い致します。

③ 試合間の練習について

・第１試合についてはラインジャッジ研修後から試合開始までの時間。それ以降のチームは前の試合が終わってから次の試合が始まるまでの時間に練習可能です。前の試合の記録をまとめ、次の試合の準備ができるまで５分～１０分程度の練習時間はあります。ネットを使用してのウォーミングアップも可能ですので、両チームで相談して決めて下さい。※審判の準備ができてから合同５分の練習時間はとりません。

④ 受付について

会場に到着したら必ず本部まで行き、受付をして下さい。そこで、記録用紙貼り付け用のメンバー表の提出もお願いします。また、エントリー変更がある場合もその時に提出をお願いします。申請されたチームには受付時に、撮影許可シールをお渡しします。会場管理係の大会役員が見やすいように、シールを貼る場所を肩のあたりとして下さい。

⑤ 試合用のラインズマンフラッグは競技部で準備しますが、ラインジャッジ研修用のフラッグは各チームで準備して下さい。ない場合は旗なしで研修をして下さい。

駐車場関係について

① 乗り合わせのお願いについて

・会場使用上の注意がホームページにアップされていますので、再度確認し、チーム関係者への確認をお願いします。特にバスや保護者の車についてよくご確認下さい。また、どの会場も駐車場には限りがあるので、できるだけ乗り合わせでお願い致します。

② トラブルの回避について

・コロナ前の大会では、駐車場トラブル（路上駐車、騒音、喫煙等）で地域からの苦情がありました。選手が大会に集中できる環境を整えるためにも、大人が節度ある行動をとり、子どもたちを守っていきましょう。

体調面に関わって

① インフルエンザ、新型コロナ等で大会に棄権することがわかったら、すぐに委員長と競技委員長に連絡をして下さい。試合順を繰り上げて行います。

１、２年生にとって初の大会となる選手も多いと思います。必ずこの資料をご確認下さい。以下、「競技上の注意」、「テクニカルタイムアウト」、の資料を添付します。ご確認下さい。

「競技上の注意」について

中体連バレーボール専門部　競技委員会

（１）選手の服装

・短パンの下にはくストロングパンツは、着用の場合は見えないように着用すること。
・腰に巻くコルセット等はユニフォームと同色にするか、中に入れること。
・リベロ選手が２名時はベストも２色とする。（色違い【反対色】のユニフォームでも可。）
・ソックスについてはくるぶしよりも長いものを着用すること。（ｽﾆｰｶｰｿｯｸｽは不可）

（２）監督、コーチ、マネージャーの服装（ベンチに入るとき）

・短パン、キュロット、ランニングシャツ・タンクトップ等は着ないこと。
・監督・コーチ・マネージャーは、ワッペンを着用すること。
・監督，コーチは同じような服装が望ましい。（同じ色のポロシャツなど）

（３）ベンチに持ち込めるものについて

・ﾒｶﾞﾎﾝ、バケツ、ﾏｽｺｯﾄ等は持ち込まないこと。（ﾎﾞﾄﾙを入れる空ﾊﾞｹﾂは可）
・セット間（タイムアウト時）など、熱中症対策のためのうちわ（通常使用するサイズ）の持ち込みを認める。ただし、応援のための使用は認めない。
・飲み物に関しては、ﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙ禁止。ｽｸｲｽﾞﾎﾞﾄﾙ、ﾜﾝﾀｯﾁ式水筒は可とする。
（飲み物はカゴなどにまとめ、ベンチ周りを綺麗に保つ。）
・通信機器（タブレット、スマホ）はベンチで使用しないこと。（全中の基準）

（４）選手エントリー変更と監督・コーチ・マネージャーの変更

・選手のエントリー変更については、受付時に、各会場競技委員あてに手続きすること。
（・大会を通しての変更。・以後の変更はできない）
・監督・コーチ・マネージャーの変更については１日目受付時、２日目、３日目受付時に、競技委員あてに手続きをすること。（１日ごと変更ができる）

（５）ワイピング

・ワイピング（汗で床が濡れ、その汗をふき取ること）については、原則として各チームで床拭き用の布を用意し、選手が腰などにつけるように指導しておくこと。
・セット間（タイムアウト時）のワイピング（モップ）は各チームで行う。

（６）その他

・管理職（１名のみ）は、監督の申し出によりベンチに入ることができる。
・ベンチに入る外部指導者（コーチ）が居る場合は、顧問が競技委員に申し出ること。
・ゴミの持ち帰りの徹底を図る。特に応援の保護者にも各チームで徹底をすること。
・貴重品や靴の盗難に注意をする。生徒の下履きはギャラリーへ持っていく。
各チームでビニール袋などを用意し管理すること。
・試合終了後、相手ベンチへの挨拶は行わず、速やかにベンチを空ける。

テクニカルタイムアウトについて

選手の健康管理のために【テクニカルタイムアウト】を採用します。

具体的には，

1　大会では，各セット（第３セットを含む）において，リードするチームが１３点に達したとき，３０秒間の給水のためのタイムアウトが自動的に適応される。その際，副審が吹笛をし，コートを退くよう促し計時する。ハンドシグナルは示さない。

2　このタイムアウトは給水を目的とするものであり，その間選手はウォームアップエリア（付近）で給水を行う。またチームスタッフはベンチに座っているものとする。給水を行うか否かの判断は，選手本人の意志による。給水を行わなくても同エリア内にとどまること。控えの選手も同様である。

3　３日目の第３セット（２５点制）も１３点の時点で適応する。
（１，２日目の３セットは１５点制なので８点でチェンジコートをした後に引き続きテクニカルタイムアウトとなる。その際，主審側を通ってコートを移動したチームの最後尾の選手がベンチ側のサイドラインを通過した時点で，副審が吹笛をし，計時を始める。）

4　正規の中断の要求やリベロプレイスメントよりも，このテクニカルタイムアウトを優先する。正規の中断の要求や，リベロプレイスメントを行う場合は，テクニカルタイムアウト後にその手続きをする。

※　今回のテクニカルタイムアウトは「給水及び汗拭き」を目的としているので，次の点に注意する。

プレーヤー	ウォームアップエリアにおいて給水する。モップをかけるためにコートへ入ることは許されるが，それ以外はウォームアップエリア付近にいることとする。ウォームアップエリアへは最短距離となるコースを通って移動する。
チームスタッフ	ベンチに着席すること。プレーヤーに対して戦術的な指示を出すことはできない。ただし，マネージャーは給水などの補充のため，ウォームアップエリアに行くことは認められるが，監督・コーチからの戦術的な伝言等をしてはならない。

※　テクニカルタイムアウト後，選手がコートインしたら，通常のＴＯの取り扱いと同様になる。

※　テクニカルタイムアウト以外に，従来通り各セット２回のタイムアウト（３０秒間）を各チームが要求することができる。